

第4回の訓練体験会は、気温が30度を超える中、15名の参加者を迎えて開催しました。

- 開催日 令和6年7月5日(月) 13:30~
- 開催場所 ポリテクセンター松本(松本市寿北)
- 内容 Part.1 板金作業の体験とAR(拡張現実)シミュレータによる溶接体験
Part.2 3D-CADと3Dプリンタによるモノづくり体験
Part.3 電気工事作業の体験

体験方法は、「Part.1」と「Part.2」の両方を体験いただく「機械金属加工系コース」と、「Part.3」を体験いただく「電気系コース」の2コースから選んでいただく形となっています。

11名の方が参加した「機械金属加工系コース」の「Part.1 板金作業の体験とAR(拡張現実)シミュレータによる溶接体験」を体験した方にお話を伺ったところ、

- ・「家業が製造業だったこともあり、もともと“ものづくり”が大好き。今日は溶接の体験を目的に来たがやっぱり面白いと感じた。前職は“ものづくり”と無縁の業務内容だったが、これからは“ものづくり”を仕事にしたいと思う。シートメタルクラフト科に入って、溶接に必要な資格を取得したい」(男性)
- ・「今日は、金属加工の体験ができるということで参加した。板金加工を経て、鉄板から「形」が現れる工程がとても楽しい。これまでは菓子を作る仕事をしていたが、金属を加工して作る仕事もいいものだと感じた。」(女性)
- ・「CAD体験を目的に参加したが、板金加工やスポット溶接を初めて体験してみて、こんなに面白いのかと新鮮な気持ちになった。」(女性)

との感想をいただきました。

実はやってみると、これまでのイメージとは全く異なる「魅力」を感じられるのが、「金属加工」です。

次回の体験会は、8月30日(金)。皆さんもぜひ「板金作業」や「溶接」の体験をして、「**新鮮な驚き**」を感じてみませんか？

“訓練体験の様子”



プレスブレーキを使用して、薄板の金属板を曲げる作業の体験



AR溶接機による「溶接疑似体験」指導員によるデモンストレーション



体験者が見ているAR(拡張現実)の映像



「溶接」板金の体験を経て参加者が作成した「ペン立て」